

大分県土木建築部長期計画（仮称）

（計画期間：平成18(2006)～27(2015)年度の10年間）

【基本理念】

「いのち」を紡ぐ県土づくり

「十年経てば景観になり、百年経てば風景になり、千年経てば風土になる」（「風土工学」富士常葉大学：竹林征三）という言葉が表すように、技術が生み出す価値は未来への種であり、世代を超えて、「関わった人・造った人の生命（想い）が籠もり、利用する人々の生命（安全・安心）が守られ、新しい生命（次世代の人々）がその価値を讃える」ような“生命を紡ぐ県土づくり”を進める。

【県土づくりの基本指針】

自然環境との調和と循環型社会への対応

環境影響評価の実施などにより環境に配慮するとともに、建設廃材の再利用や再資源化など建設リサイクルの推進に努める。

効率的・効果的な整備の推進

構想段階から緊密な地域との協働を進め、必要かつ緊急を要する施策への重点化を図るとともに、各段階での厳正な事業評価を行い、実施にあたっては積極的なコスト縮減に努める一方、品質の確保を図る。

施設の適切な維持管理と長寿命化

施設の「点検台帳」を整備し、更新時期の平準化、ライフサイクルコストの縮減など適切な維持管理と長寿命化に努める。

危機管理体制の充実と総合的な防災対策の推進

平常時からの危機管理意識の醸成と、非常時における迅速な対応、被災した施設の早期復旧に努める。

【県土づくりの3つの戦略】

10年後の大分
過去・現在にわたる整備効果と
10年後の将来像を明示し実現を
めざす

（1）安心して生活できる県土づくり

- 土砂災害の防止（土砂災害から県民を守る取組を強化する）
- 浸水被害の防止（床上浸水被害地域の半減をめざす）
- 地震災害への備え（緊急輸送道路等の耐震補強を進める）
- 交通安全の推進（事故多発危険箇所の対策を強化する）
- 水資源の確保（建設中のダムを整備を進める）

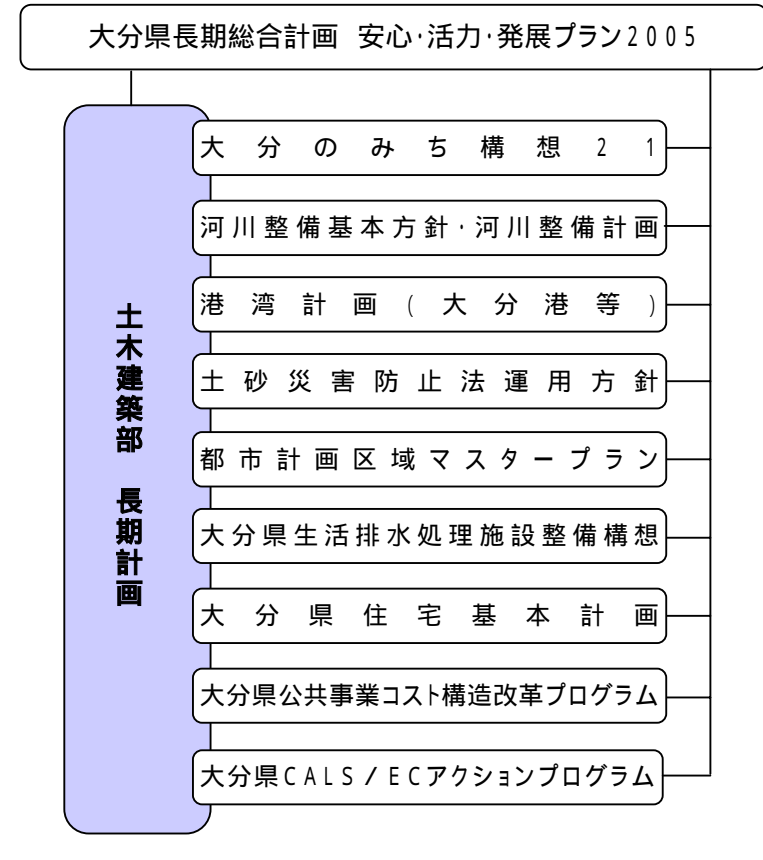
（2）交通ネットワークの充実

- 道路ネットワークの充実（高速道路の整備を進め主要都市間の所要時間の短縮を図る）
（日常生活を支える生活道路の整備を進める）
- 海上輸送拠点の充実（フェリー埠頭の整備を進める）

（3）快適な生活環境の創造

- 快適な都市空間の形成（土地区画整理や都市公園の整備を進める）
- 生活排水処理の向上（地域の実情に応じた処理施設の整備を進める）
- 渋滞・騒音の軽減（渋滞カ所の整備や低騒音舗装を推進する）
- 住宅環境の向上（気候・風土に適合し環境に配慮した住まいづくりを進める）

「住んでいて良かった。来てみて良かった。」と思えるような「おおいたの県土づくり」を進めます。



重点プロジェクト

- 東九州自動車道
- 地域高規格道路 中九州横断道路
- 地域高規格道路 中津日田道路
- 竹田水害緊急治水ダム事業 稲葉ダム
- 大分駅周辺総合整備事業
- 大分スポーツ公園